

明けまして

おめでとーございませう

三輪区長 増田富夫



皆様には健やかに新年を迎えられ、謹んでお慶び申し上げます。本年も三輪区の自治活動にご協力をお願い申し上げます。

私の本年の所感といたしましては、
 ・三輪区公民館を整備し、ふれあいサロン、百歳体操、展示会、趣味の集い等に利用していただき、人と人の交流の輪が広がる拠点に思っています。

・安心安全なまちづくりには、減災のための自主防災組織の活動、通学路の安全管理、駐在所と連携して「向う3軒両隣」の声掛け運動を実施。

・快適で訪れてよし、住んでよしのまちづくりには、清掃活動や駅前、児童公園などの「町なか花いっぱい」活動の推進。

・三輪の歴史を知り、三輪の町がどのように変わろうとしていくのかの情報を発信し、町の問題点を共有し合うために、

コミュニティ新聞「馬酔木」を3ヶ月に1回発行していきます。

「ハード」面では、県・市・地元の協働で、大神神社の参道整備（平成30年工事開始予定）と参道周辺地区のまちづくりの基本計画の作成が、市と地元が中心となって進んでいます。

三輪のまちづくりがソフトとハードの両方が相まって、西歳にあやかり大いに爽りのある年になって欲しいと思っております。

花いっぱい推進事業の認定

花と緑のまち

づくりは、広くその地域に根差し実施されることが望まれ、住民参加の花いっぱい推進運動の啓発、活性化を図るため、奈良県が支援しています。



平成28年度の緑の募金事業として、桜井市を通じて三輪区自治会が申請いたしましたところ、認定されました。

三輪区公民館

館の前にプランターに花を植え、ポケツト花壇の造成をしました。



散策時や公民館の利用時に一服の清涼剤になればと思っております。

駅前前のプランター、花壇の花植えも推進して行きます。

皆様のご協力をお願いいたします。3月までにはパンジーを植えたいと思っています。

お餅などの誤嚥に注意！

お正月前後には、高齢者や幼児がお餅をのどにつめる窒息事故が多く発生します。山添医院院長の山添裕康先生に、誤嚥の予防と対処法を伺いました。

(予防法)

- ①お餅を最初から小さく切って、少しずつよく嚥んでからのみこむ。
- ②食前に水かお茶をのんで通りやすくしておく。

③食べている間にも、水やお茶を少しずつのむ。

(対処法)

お餅などをのどにつめた人がいたら、まず、近くにいる人に大声で応援を求め、「**すぐ救急車を呼ぶ**」ことが大切です(119番)。その際状況を明確に伝えて救急車が到着するまでの指示を受け、救急車の到着までにできるだけの方法を試みる。

①くちを開けて餅などが見えるならば、嚥まれないように手袋やガーゼで指をまもり、直接つまみ出す。

②直接つまみ出すのが不可能な場合、うつむかせるか、横向きに寝かせて、手のひらのつけねで背中の真中を4、5回強くたたく。

③つまらせた人の後方から両腕を回して、胃のあたりで両手を組み、腹部を下から上へ一気に強く圧迫し、肺のなかの空気で押し出す。(6歳未満には不適)

④呼吸が止まっていたら心肺蘇生術を行う。



認知症を通して学ぶわがまち

桜井市地域包括支援センターひかりの松本です。みなさん！昨日の夕飯は何を食べられましたか？思い出してみてください。一昨日は・・・？三日前の夕飯は？症状が進むと食べたことさえ忘れてしまいます。認知症は「物忘れ」とのイメージがありますが、「はいかい」もその一つです。今年、桜井市内で何人もの方ははいかいで行方不明になられています。

昨年7月、大三輪中学校区の介護保険

関係事業所の方と「みたで！訓練」を実施しました。徘徊者を探し出すのが目的ではなく、「安心して散歩ができる町」

を目標に、真っ赤なシャツを着た私が徘徊者役で歩きまわりました。誰からも声をかけてもらえないのではと不安でしたが多くの方から声をかけていただきました。



歩いてみて、①自分の顔を知って

いる方が多ければ、声掛けや見守りをしていただけで安心して歩ける。②知らない方からでも声をかけられると嬉しい。③三輪区だけでの訓練ができればいい。④山手より、三輪駅周辺や参道にはたくさんの方がいることが分かりまし

た。

「顔を知らないから声をかけるのに勇氣がいった」「声をかけて顔がつながりよかった」という意見をいただきました。

認知症について一人でも多くの方に理解や関心をいただき、気配りや声掛け、見守りの輪の広がりに繋がれば、認知症の方に限らず、子供から高齢者まで安心して歩ける街になると確信しています。

三輪区だけでの訓練もできればと思っ

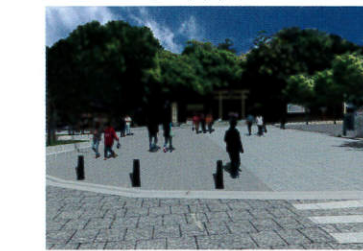
大神神社参道周辺地区まちづくり②

大神神社参道舗装・車止め・植栽

舗装については、大神神社の参道にふさわしい落ち着いた格式のある参道となるよう、参道及び歩道、車道について、石の風合いを醸し出す素材を使用することになりました。とくに、中央参道部は、進行方向の目地を強調した大判の板石を用いることにより、「写真①」



写真①



写真②

のような神聖な雰囲気を作り出すことになりました。

車止めについては、視認性に優れた高さや、自然に溶け込む色調等の条件に対応した「写真①」のタイプを使用することになりました。ただし、二の鳥居前広場にはより重厚な雰囲気を感じさせる「写真②」のタイプを使用することになりました。

植栽については、大鳥居駐車場よりも東側からクロマツを中心に、現状と同じ樹種を植え、中央参道の植栽帯には上品な雰囲気を作り出すためにリュウノヒゲも植えることになりました（写真①）。

「水害に備えて」

モバイルサイト登録を



奈良県政出前講座「水害に備えて」を、昨年9月11日（日）、三輪小学校コミュニティルームで開催しました。参加者は60人を超え、いつ襲われるかも知れない水害への備えに、皆さんの関心の高さがうかがえました。初瀬川（大和川）は決壊や氾濫する川でしたが、河川改修でその危険は薄らいだようにみえます。

しかし、一時間に100ミリを超えるといった豪雨が珍しくないなか、「水害への日頃の備え」は大切です。

県は、一刻も早い「初瀬川の水位」や「避難」など、「河川防災情報」の「携帯メール配信サービス」をしています。携帯電話に登録さえしておけば、河川防災情報が自動的に送られてきます。

モバイルサイトへは、①検索サイトから「奈良県河川課」を検索し、②「河川課／奈良県公式ホームページ」・③【奈良県】川の防災情報

報・④【携帯版】奈良県川の防災情報／携帯メール配信サービス・⑤

「川の防災情報【メニュー】」の「⑥アラームメール」へと順にクリックしていくと、自動配信サービスの登録ができます。

「備え」には、一刻も早い情報入手が大切です。携帯電話をお持ちの方は、ぜひ登録をされて水害にお備えください。

奈良県河川課モバイルサイトへはこちらからアクセス

QRコードリーダー対応の携帯電話をお使いの方は、下記のQRコードからアクセスが可能です。それ以外の方は下記アドレスよりアクセスをお願いいたします。河川課モバイルサイト：<http://www3.kasenbousai.pref.nara.jp>



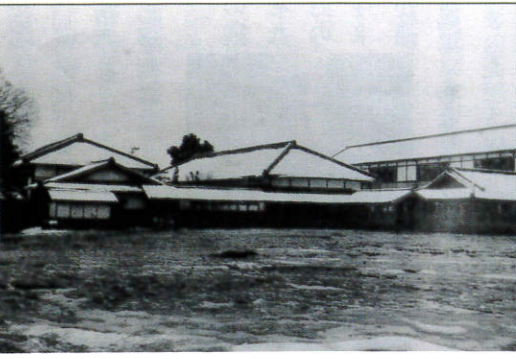
想い出・歴史散歩

「近代幕開けの地(その2)」

—三輪小学校—

三輪小学校は現在地に移転するまでは、恵比須神社の東側、旭町・東町にありました。旭町を流れる川沿いに面して南北に運動場があり、東南隅が山添医院にあたります。写真は、移転前の地に建つ当時の校舎です。

明治7年に外嶋安逸郎氏の家屋を仮校舎に開校され、通称、「三諸館」と呼ばれていました。その後、明治10年、恵比須神社東側の地に木造平屋(一棟は2階建)の洋風に模した校舎が建てられました。暴



風雨などによる校舎の破損で法念寺や心念寺が仮教室になったこともあり。校舎の修繕、就学児童の増加などによる増改築を経て、大正13年に現在地に移転しました。

三輪校区防災訓練(予定)

日時・平成29年2月19日(日)

午前8時30分〜午前11時30分

対象・三輪校区住民。

参加予定者250名(三輪区60名)

目的・大規模災害時の防災及び避難訓練

内容・

- ①大地震による被害を想定し、一時集合場所から指定避難場所へ移動。
 - ②参加者名簿作成。
 - ③避難経路の障害物や安全確認。
 - ④三輪小学校体育館へ移動。
 - ⑤班別に県防災士による災害時訓練。
 - ⑥炊き出し試食、放水体験。
- 区民皆様方のご参加をお願いします。

秋祭り子ども御輿

秋祭りは天候に恵まれました。10月23・24日の両日、すがすがしい秋晴れの下、「西三輪なかよし子供会」の御輿が元気に三輪のまちなかを練り歩きました。

近年は、少子化で子ども御輿の数も少なくなり、何となく寂しい秋祭りとなっております



が、「わくしよれ!」と御輿をひく子どもたちの大きな声がまちに響き渡り、秋祭りを盛り上げました。

「夜市祭の賑わい」

恵比須神社の「夜市祭」は、毎年、8月13日に催されます。境内は夕刻から火が灯される「千本ロウソク」で幻想的な世界に包まれます。「夜市祭」を知らない方もおられると思いますが、古くは、「初市」と並ぶ恵比須神社の二大祭として、お盆に必要な仏花やお供え物などの市が境内や神社周辺に軒を連ね、賑やかなお盆の祭りであったりようです。



時代の変化でその面影はいまはありませんが、4年前からは「子ども夜市」を開き、子どもも楽しめる夏祭りとなっております。ヨーヨーつりや射的などの遊びに興じる子どもたち、流し素麺や神社青年会による模擬店、元宝塚ジェ

ン又大海亜呼さんの歌声奉納など、千本ロウソクの幻想的な雰囲気のほか、昨年は例年より多数の人出で、多少なりとも賑わいの復活を思わせる「夜市祭」となりました。

「心念寺・じぞうまつり」

—金魚すくいに楽しむ子どもたち—
三輪の各町内にはお地藏さんがありません。初瀬川のたび重なる氾濫で、各町内の地藏さんは流されてしまったのとことです。



心念寺には「流れ地藏」と「虫切地藏」がありですが、「流れ地藏」は、氾濫で流されたお地藏さんのお地蔵を願って集められたものといひ伝えられています。

「虫切地藏」は、廃仏毀釈で廃寺となった福楽寺から移されたもので、観虫治療などにご利益があるとされて、「虫切地藏」と呼ばれるようになったそうです。
毎年、8月24日は、金魚すくいなどに楽しむ子どもたちで境内は賑わいます。

通学路の安全確保

学校コミュニティ協議会から、校区内の通学路の安全確保の現地確認で、「イノウエ薬局」北側の側溝に蓋をして欲しいとの要望があり、市の土木課の協力をえて、鉄板で側溝をふさいでもらいました。



児童の通学だけでなく、町内の方々の往來時に車が通る際の避難場にもなり、安全に歩けるようになりました。

「涅槃像・仏像」心念寺へ贈与

廃仏毀釈で三輪児童公園にあった「福楽寺」は廃寺となり、什物(じゅうもつ)(秘蔵物)は「道場(院)」(下新町)に移され、その後、旧三輪区(三輪区・薬師堂区・上市区)の所有となり、昭和16年から心念寺に管理を委託して今日に至っていました。

年月を経て修理の時期にあり、町総代会(昨年4月25日)で今後の管理を検討し、心念寺への贈与(薬師堂区・上市区も同意)の総意で、昨年9月11日に「贈与契約書」を取り交わしました。

老人クラブ「みわ楽友会」便り

健康や友愛といった会員全体での楽しみに、「ストレッチ体操、ひかりさんの健康診断、ハーモニカ演奏による合唱、落語を聞く会、公園清掃奉仕、ビンゴゲーム」などを行っています。笑いや競技心はボケ防止にもなっています。趣味の場としては、「手芸や俳句の会、カラオケ」などがあります。昨年9月の「落語鑑賞会」では、大いに笑い、楽しみました。老人と名がつくと嫌がる人もおられますので、「みわ楽友会」と名乗っています。ご入会ください。(会長・井上泰一)

救命救護訓練

広域消防桜井消防署・桜井消防団女性部の指導で、「救命救護訓練」を、昨年10月30日(日)に三輪区公民館で実施しました。30人の参加者は一人ひとり、一次救命処置として、「胸部圧迫」と「AED」の使用を練習しました。



参加者から、「実際にやってみて簡単」との感想をいただきました。

「ふれあいサロンみわ♥カフェ」

—どなたでも参加できます—

毎回多くの参加者で楽しい場となっています。手作りクッキーやコーヒーをいただき、百歳体操や談笑をしています。ところが、「みわ

♥カフェって何?」「誰でも行っているの?」といった声を耳にします。



「みわ♥カフェ」は、「介護保険制度改正」による、「軽度の方々」への「地域の支援体制づくり」として、三輪地区社会福祉協議会が開いたものです。高齢者や障がい者、子育ての方々が気軽に集まれる場として、何となく疎遠になっていた近所同士がひと時を過ごすのが目的です。

お子さんから高齢者、若い方々まで、どなたでも参加いただけます。一度、気軽にお越しください。

伝言板

○恵比須神社社務所屋根瓦の葺き替えが、皆様のご浄財によって竣工し、「竣工奉告祭」を斎行いたしました。ご協力有難うございました。(宮司・竹内久司)

◆年間行事予定

平成29年1月～3月行事予定

- 「ふれあいサロンみわ♥カフェ」
日時 1月13日(金) 1時30分
場所 三輪区公民館
- 地域ケア会議
日時 1月19日(木) 1時30分
場所 三輪小学校コミュニティルーム
- 恵比須神社「初市祭」行事
2月5日(日) 鯛引き
2月6日(月) 初市大祭
2月7日(火) 御供まき
- 三輪校区防災訓練(予定)
日時 2月19日(日) 9時00分
場所 三輪小学校体育館
- 大和川清掃
日時 3月5日(日) 9時00分
場所 松之本公民館集合
- 自主防災会議
日時 3月20日(月) 18時00分
場所 三輪区公民館
- 三輪区町総代会
日時 3月20日(月) 19時00分
場所 三輪区公民館
- 「ふれあいサロンみわ♥カフェ」
日時 3月31日(金) 1時30分
場所 三輪区公民館